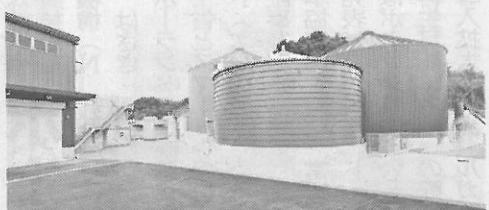


竣工した「牧之原バイオガス発電所」外観



竣工した「牧之原バイオガス発電所」外観
の年間消費電力は一般家庭約600世帯分



「牧之原バイオガス発電所」竣工

リサイクル事業や発電事業を手掛けるアーキアエナジー(東京都港区)が静岡県牧之原市の白井工業団地内で建設を進めている「牧之原バイオガス発電所」のバイオガス発電所となる。日量約80トンの食品残渣をすべて近隣や静岡県内から受け入れる。発電機の出力は650kW、年間発電容量は一般家庭約600世帯分

の工事が完成し、3月13日に竣工式が開かれた。主に食品工場などから排出される食品廃棄物を利活用する施設で、東海地区で最大規模のバイオガス発電所となる。

竣工した「牧之原バイオガス発電所」外観

「ひょうご農商工連携フンド事業助成金」が(公財)ひょうご産業活性化センターから発表された。この助成金は兵庫県内の中小企業者と農林漁業者等の連携により、県内の農林水産物などの地域資源を生かした新商品・新ビジネスの開発を支援する。

(独)中小企業基礎整備機構農工連携型地域中小企業応援ファンド融資事業を活用し、兵庫県、ひょうご産業活性化セ

ンター、地元の各金融が助成を行っている。

助成率は3分の2、助成金の上限は500万円。採択されたからの事

業助成期間は2年間となっ

ている。

平成23年度から実施さ

れており、今年で7年目。これまで70件の事業

が採択されてきた。

平成29年度は全13件が

開催される。

丹波乳業(丹波市)による

「丹波産バイオマスエネルギーと消化液の開発」

が地場産業の一つなぎである消化液も含まれている。

兵庫県は、海沿い以外は山がちな土地。自然豊かな土地でもあり、農業

はあくまで地域のバイオマス資源の有効活用としている点だ。現地は山谷

が開拓されてきた。主眼

は、牛乳・乳製品の製造・加工・販売を行う丹

波乳業(丹波市)による

ガスを取り出す。取り出されたガスを燃料に発電を

行う。そして発酵させた後の残渣である消化液

を、農業における肥料と

して活用する予定だ。

注目するべきは、主眼

は、牛乳・乳製品の製造・加工・販売を行う丹

波乳業(丹波市)による

ガスを取り出す。取り出されたガスを燃料に発電を

行う。そして発酵させた後

の残渣である消化液を、農業における肥料と

して活用する予定だ